

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防課(署)					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3. 「安全・減災都市二宮」づくり				
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化		実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)				
予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進めます。							
内容	他県において大規模災害が発生した際に迅速に出動ができるように装備を整える。							
根拠法令・条例等	・消防組織法・緊急消防援助隊に関する政令							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか							
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか							
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	・大規模災害等の派遣要請に備えて活動隊員のライフジャケットを整備しました。 ・平成25年度の出動はなかった。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	随時				
前期(27年度)目標値	随時			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:	国内で発生した大規模災害等に際して、消防庁長官の出動要請に対応。緊急消防援助隊及び後方支援体制の充実強化。				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	—	随時			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		317	79				
財源内訳	一般財源	317	79				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 ・緊急消防援助隊は日本において法制化された消防相互応援制度です。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 ・緊急消防援助隊は日本において法制化された消防相互応援制度です。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 ・いつ発生するか分からない大規模災害に備える必要があり成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 ・緊急消防援助隊の活動経費は国が負担する。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 ・消防・救急救助活動業務の円滑な活動と装備の充実強化を図り安全・安心な町づくりを進める。また、大規模災害等の発生時には出動要請に迅速に対応するため現状を維持する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・装備の充実及び資機材の点検を日常的に行い複雑多様化する災害に備える。 ・緊急消防援助隊、一次から三次までの出動隊員の円滑な配置及び準備体制の確保。 	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急消防援助隊は、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施するため、全国の消防機関相互による援助体制のため今後も維持する。 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・車両、資機材等の日常点検を行い災害時の対応に万全を図る ・大規模災害等が発生し、出動要請があった場合に迅速に出動するため、装備等の充実強化を図り複雑多様化する災害に備える。 		